

第37回 東海デフスポーツ大会 申込案内書



★開催期間 2026年6月6日(土)～7日(日)

★開催地 愛知県一宮市

★主催 東海聴覚障害者連盟

★主管 一般社団法人愛知県聴覚障害者協会

目 次

目 次	1
第37回東海デフスポーツ大会のご案内	2
第37回東海デフスポーツ大会・開催要綱案	3
第37回東海デフスポーツ大会・会場案内	4
第37回東海デフスポーツ大会・競技会場マップ	5
第37回東海デフスポーツ大会・競技実施要項	7
軟式野球競技実施要項	10
卓球競技実施要項	12
バレーボール競技実施要項	15
ボウリング競技実施要項	17
ソフトボール競技実施要項	18
硬式テニス競技実施要項	20
サッカー競技実施要項	22
グラウンド・ゴルフ競技実施要項	24
【様式1】東海デフスポーツ大会選手登録変更届	26
【様式2】東海デフスポーツ大会監督・主将会議代理届	27
【様式3】東海デフスポーツ大会選手登録追加届	28
【様式4】東海デフスポーツ大会ダブルス組合せ同意書	29
【様式5】東海デフスポーツ大会メンバー及び投球順変更届	30
2026年度スポーツ大会出場資格基準	31
第37回東海デフスポーツ大会 託児について	33
東海デフスポーツ大会 参加申込みの流れ	35
第37回東海デフスポーツ大会 参加申込書（個人用）	36
東海デフスポーツ大会参加に関する誓約事項・参加誓約書	37

第 37 回東海デフスポーツ大会のご案内

主催：東海聴覚障害者連盟 / 主管：一般社団法人愛知県聴覚障害者協会

期間 2026年5月2日(土)

内 容	会 場	5 月 2 日(土)
監督・主将会議	一宮市木曾川体育館	13:30～15:30

期間 2026年6月6日(土)～7日(日)

※都合により時間の変更有

内 容	会 場	6 月 6 日(土)	6 月 7 日(日)
開 会 式	各競技会場	10:00～10:30	—
第 76 回軟式野球競技	一宮市奥町公園 野球場	12:00～17:00	予備日 9:00～15:00
第 37 回卓球競技	一宮市総合体育館 第 2 競技場 (旧アリーナ A)	12:00～17:00	9:00～16:00
第 37 回バレーボール競技	一宮市総合体育館 第 1 競技場 (旧アリーナ)	12:00～18:00	—
第 37 回ボウリング競技	アソビックスびさい	12:00～18:00	9:00～15:00
第 35 回ソフトボール競技	一宮市奥町公園 ソフトボール場	12:00～17:00	9:00～15:00
第 32 回硬式テニス競技	一宮市尾西運動場 テニスコート	12:00～17:00	9:00～15:00
第 17 回サッカー競技	一宮市木曾川運動場 グラウンド	12:00～17:00	予備日 9:00～15:00
第 9 回 グラウンド・ゴルフ競技	一宮市尾西運動場 グラウンド	12:00～17:00	予備日 9:00～15:00
託 児	一宮市総合体育館 多目的室	9:30～18:00	8:30～16:00
大会メイン本部	一宮市総合体育館	8:30～19:00	8:30～17:00
大会サブ本部	アソビックスびさい	8:30～19:00	8:30～17:00

第37回東海デフスポーツ大会開催要綱（案）

1. 目的 東海地区の聴覚障害者がスポーツを通して技を競い、健康な心と身体を養い、自立と社会参加を促進し、明るい社会生活を営むことを目的とする。
2. 名称 第37回東海デフスポーツ大会
第76回 軟式野球競技
第37回 卓球競技
第37回 バレーボール競技
第37回 ボウリング競技
第35回 ソフトボール競技
第32回 硬式テニス競技
第17回 サッカー競技
第9回 グラウンド・ゴルフ競技
3. 主催 東海聴覚障害者連盟
4. 主管 第37回東海デフスポーツ大会実行委員会
構成団体（一社）愛知県聴覚障害者協会
一宮市聴覚障害者協会
5. 日時 2026年5月2日(土) 監督主将会議
13時30分から16時30分
2026年6月6日(土) 開会式（各競技会場にて）
10時から10時30分
12時より競技開始
2026年6月7日(日)
9時から試合終了まで
試合終了後閉会式（各競技会場にて）
※雨天の場合は本部より連絡
6. 会場 軟式野球競技（一宮市奥町公園・野球場）
卓球競技（一宮市総合体育館・第2競技場）
バレーボール競技（一宮市総合体育館・第1競技場）
ボウリング競技（一宮市アソビックスびさい）
ソフトボール競技（一宮市奥町公園・ソフトボール場）
硬式テニス競技（一宮市尾西運動場・テニスコート）
サッカー競技（一宮市木曾川運動場・グラウンド）
グラウンド・ゴルフ競技（一宮市尾西運動場・グラウンド）
7. 後援（予定） 愛知県、一宮市、愛知県教育委員会、一宮市教育委員会
（社福）愛知県社会福祉協議会、（社福）一宮市社会福祉協議会
（一社）愛知県身体障害者福祉団体連合会、（社福）中日新聞社会事業団
（公財）毎日新聞大阪社会事業団、（社福）朝日新聞厚生文化事業団
（社福）読売光と愛の事業団中部支部、（社福）東海テレビ福祉文化事業団
中京テレビ放送（株）、メ〜テレ（株）、CBC放送（株）、テレビ愛知（株）
8. 協力（予定） 一宮市
一宮市軟式野球連盟、一宮市卓球連盟、愛知県バレーボール協会
一宮市ボウリング連盟、愛知県ソフトボール協会、一宮市テニス協会
愛知県サッカー協会、一宮市グラウンド・ゴルフ協会、日本赤十字社愛知県支部
西尾張聴覚障害者団体連絡協議会、愛知県手話通訳問題研究会西尾張班、
9. 参加チーム 三重県、岐阜県、静岡県、愛知県（役員、選手約500名）

第 37 回東海デフスポーツ大会

会 場 案 内

内 容	会 場	住 所
監督・主将会議	一宮市木曾川体育館	一宮市木曾川町門間字沼間 3 5

内 容	会 場	住 所
第 7 6 回軟式野球競技	一宮市奥町公園 野球場	一宮市奥町宮郭 9
第 3 7 回卓球競技	一宮市総合体育館 第 2 競技場 (旧アリーナ A)	一宮市光明寺白山前 2 0
第 3 7 回バレーボール競技	一宮市総合体育館 第 1 競技場 (旧アリーナ)	一宮市光明寺白山前 2 0
第 3 7 回ボウリング競技	アソビックスびさい	一宮市籠屋 3 - 9 - 1
第 3 5 回ソフトボール競技	一宮市奥町公園 ソフトボール場	一宮市奥町宮郭 9
第 3 3 回硬式テニス競技	一宮市尾西運動場 テニスコート	一宮市開明大橋北 1 - 1
第 1 7 回サッカー競技	一宮市木曾川運動場 グラウンド	一宮市木曾川町 黒田字北宿三の切 1 - 1
第 9 回 グラウンド・ゴルフ競技	一宮市尾西運動場 グラウンド	一宮市開明大橋北 1 - 1
託 見	一宮市総合体育館 多目的室	一宮市光明寺白山前 2 0
大会メイン本部	一宮市総合体育館	一宮市光明寺白山前 2 0
大会サブ本部	アソビックスびさい	一宮市籠屋 3 - 9 - 1

会場案内図① (一宮市総合体育館・木曾川運動場・奥町公園・尾西運動場)



会場案内図② (アソビックスびさい)



尾西運動場

尾西 IC

アソビックスびさい
 ・ボウリング競技
 ・サブ本部

一宮西 IC

一宮稲沢北 IC

一宮 JCT

所要時間 (車)

一宮市総合体育館	→ 木曾川運動場	15分
	→ 奥町公園	20分
	→ 尾西運動場	25分
	→ アソビックスびさい	30分
木曾川運動場	→ 奥町公園	10分
	→ 尾西運動場	15分
	→ アソビックスびさい	20分



奥町公園	→ 尾西運動場	5分
尾西運動場	→ アソビックスびさい	10分
尾西運動場	→ アソビックスびさい	5分

第37回東海デフスポーツ大会 競技実施要項

1. 趣 旨

東海デフスポーツ大会は、東海地域在住の聴覚障害者の間にスポーツを振興し、その普及発展と民主的なスポーツ精神の高揚を図り、あわせて聴覚障害者の健康を増進し、その生活を明朗にしようとするものである。この趣旨に則り、盛大かつ友好的な大会にすべく誠意努力する中で、初期の目的の達成を期して本競技実施要項を定めるものである。

2. 実施方針

- (1) 大会は、軟式野球、卓球、バレーボール、ボウリング、硬式テニス、ソフトボール、グラウンド・ゴルフ、サッカー競技の計8競技を行う。
- (2) 大会は、2026年6月6日(土)～7日(日)の2日間で行う。天候により中止にする場合もある。
- (3) 競技規則は各競技実施要項のとおりとする。
- (4) 大会参加資格
 - ① 東海聴覚障害者連盟会員であること。
 - ② 東海聴覚障害者連盟会員資格を持たない高校生、および健聴者の監督・コーチなどは、東海聴覚障害者連盟加盟協会に認められた者であること。
 - ③ 団体参加の場合、東海聴覚障害者連盟加盟協会から1チーム以上参加できるものとする。
 - ④ 他ブロック（東海聴覚障害者連盟以外）の参加については、認めない。
- (5) 表 彰
 - ① 団体戦について
 - (ア) 団体戦の優勝旗・優勝杯は持ち回りとする。
 - (イ) 賞状は優勝・準優勝・三位チームに授与する。

種 目 競 技 名	性 別	優勝旗	優勝杯	優勝楯	準優勝楯	三位楯
軟式野球競技		○		○	○	○
卓球競技団体戦	男・女	×	○	○	○	○
バレーボール競技	男・女	×	○	○	○	○
ボウリング競技団体戦	-	×	○	○	○	○
ソフトボール競技	-	○	×	○	○	○
サッカー競技		○		○	○	○

- ② 個人戦について

卓球、ボウリング、硬式テニス、グラウンド・ゴルフ競技の個人戦の優勝、準優勝、三位に賞状を授与する。
- ③ ダブルス戦について

卓球、硬式テニス競技の男子・女子・混合各ダブルス戦の優勝、準優勝、三位に賞状を授与する。賞状形式は次のとおり。

賞
東海 太郎
愛知 花子

賞
愛知 花子
東海 太郎

- ④ 軟式野球競技の個人賞については、最優秀選手賞、最優秀投手賞、打撃賞、敢闘賞を各1名、授与する。
- ⑤ バレーボール競技の個人賞については、最優秀選手賞を男子競技、女子競技で各1名、授与する。
- ⑥ ボウリング競技の個人賞については、HG（ハイゲーム）賞、HS（ハイシリーズ）賞を男子競技、女子競技で各1名、授与する。

※ HG 賞・・・最高得点者（6ゲーム中の1ゲーム最高得点）

※ HS 賞・・・全得点最高優秀者（3ゲーム合計スコアの最高得点者）

- ⑦ ソフトボール競技の個人賞については、最優秀選手賞、最優秀投手賞、打撃賞、敢闘賞を各1名、授与する。
- ⑧ グラウンド・ゴルフ競技の個人賞については、最優秀選手賞を男子競技、女子競技で各1名、授与する。
- ⑨ サッカー競技の個人賞については、最優秀選手賞を1名、授与する。

(6) 参加申込み方法

① **参加希望選手・チーム**は、所定の個人参加申込書・競技参加申込書に参加料（後述8項）を添えて、**2026年4月20日（月）必着**で所属協会体育部長に送付すること。

② **所属協会体育部長**は、参加申込統括書に必要事項を記入の上、各競技参加申込書を含めて公印を捺印の上、後述11項の送付先に**2026年4月27日（月）必着**で送付すること。
なお、参加申込にあたり、以下留意すること。

(ア) 所属協会体育部長は参加申込書、参加申込統括書を全部コピーし、保管すること。

(イ) 納入した参加料について、大会参加申込の締切日（4/27・月）以後、理由の如何にかかわらず返金しない。

(7) 大会参加料

① 参加料については、競技及び種目別に次表のとおりとし、参加申込時に実行委員会へ納めるものとする。申込以後の返金は、原則として理由の如何にかかわらず認めない。

【参加料】

種 目 競 技 名		一 般	高 校 生	備 考
個 人	軟式野球競技 卓球競技 バレーボール競技 硬式テニス競技 ソフトボール競技 グラウンド・ゴルフ競技 サッカー競技	3,500円	2,000円	
	ボウリング競技	6,000円	4,000円	
ダブルス戦	卓球・硬式テニス競技	1組3,000円	1組3,000円	1人1,500円

【団体料】

種 目 競 技 名	1チーム参加料	備 考
軟式野球競技	14,000円	
卓球競技 男女別	8,000円	
バレーボール競技 男女別	10,000円	
ボウリング競技	19,000円	
ソフトボール競技	12,000円	
サッカー競技	10,000円	

- ② 卓球、硬式テニス競技のシングルス戦に出場しない場合でも、個人参加料を納めなければならない。
- ③ 卓球、硬式テニス競技のダブルス戦で異なる県の選手同士でペア出場する場合の参加料はそれぞれ1人1,000円とする。
- ④ 団体参加料は、選手・チームが所属する協会が負担する。
- ⑤ 申込以後、当該選手に事故や変更があった場合は、当日の監督・主将会議の開催前までに、その変更の届出があった場合のみ、選手の変更を認める。(変更届は別掲の様式1のとおり) その場合、変更された選手は、参加料を納めなければならない。

(8) 監督・主将会議

- ① 原則として、2026年5月2日(土)に監督・主将会議を行う。
- ② 監督・主将会議は、審判長との打ち合わせ、組み合わせ抽選などを行う。
- ③ 監督・主将がともに欠席したチームは、原則として出場を棄権したものとみなす。
やむを得ず代理人が出席する場合は、事前に監督又は主将が作成した代理届(別掲の様式2)を監督・主将会議の開催前までに所属協会体育部長へ提出しなければならない。

(注) 開催日時については、P1(日程・会場)をご参照ください。

(9) 組み合わせ抽選

種目競技名	種目名	監督・主将会議	大会実行委員会で 審判長立会いのもと行う
軟式野球競技	団体戦	○	
卓球競技	団体戦	○	
	シングルス戦		○
	ダブルス戦		○
バレーボール競技	団体戦	○	
ボウリング競技	団体戦	○	
	個人戦		○
硬式テニス競技	シングルス戦		○
	ダブルス戦		○
ソフトボール競技	団体戦	○	
グラウンド・ゴルフ競技	個人戦		○
サッカー競技	団体戦	○	

(10) 申込書・集計書送付先・連絡先

郵送先：〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸1-7-2 桜華会館内
 一般社団法人愛知県聴覚障害者協会気付
 第37回東海デフスポーツ大会実行委員会 宛
 FAX：052-221-8154 TEL052-221-8545
 E-mail：a18154@sage.ocn.ne.jp

軟式野球競技実施要項

1. 競技種目

軟式野球競技とする。

2. 競技規則

大会開催年度の公認野球規則および（公財）全日本軟式野球連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。

3. チーム編成

- ① 1チームの編成は、監督・コーチ・スコアラー・マネージャーを含めて20名以内とする。
- ② 監督またはコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手としては参加できない。
- ③ 大会開催中に背番号のミスなどで選手名簿と一致しない選手は失格とする。
- ④ 登録選手の変更または追加登録は、実行委員会が指定した期日までに届け出ること。それ以降は認めない。

4. 競技方法

① 試合方式について

(ア) 下記いずれの場合も7回制で時間制を採用し、1時間45分を経過した場合には新しいイニングに入らないものとする。※ただし、決勝戦は除く。

参加チーム数	試合方式
2チーム	1日目のみの決勝戦とする。 得点差10点以上の場合は1時間45分で試合終了とする。 同点延長は9回までとし、引分けの場合は、特別延長方式を適用。
3チーム	総当たりリーグ戦とし、1日目2試合、2日目1試合とする。 5回以降で7点差の場合は、コールドゲームとする。 同点延長は7回までとし、引き分けの場合は、特別延長方式を適用。
4チーム以上	トーナメント制とし、1日目は準決勝まで、2日目は決勝戦とする。 ※チームが多い場合は、複数の会場で行うなど調整する。 準決勝までは5回以降で7点差の場合は、コールドゲームとする。 決勝は、得点差10点以上の場合は1時間45分で試合終了とする。 同点延長は準決勝までは7回までとし、決勝戦は9回までとする。 引分けの場合は、特別延長方式を適用。

② 特別延長方式について

(ア) 継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、無死満塁の状況により1イニング行い得点の多いチームを勝者とする。
(同点時でも2イニングまでとする)

(イ) 特別延長でも勝敗が決しない場合、および会場の都合により特別延長は困難であると審判団と実行委員会で協議した上で判断した場合は、抽選方式とする。

③ 試合成立について

- (ア) 日没や降雨など、その他プレーヤーが危機にさらされる恐れがある場合は、コールドゲームとする。コールドによる勝敗や翌日の再試合については主催者と実行委員会と審判団において決定する。

5. 使用球

- (公財) 全日本軟式野球連盟公認 M 号ボールとし、ボールのメーカーについては主管団体において決定する。

6. 競技用具について

- ① 打者および走者は、ヘルメットを着用しなければならない。
- ② 守備中の捕手は、ヘルメットおよびレガーズ、プロテクター、ファールカップを着用しなければならない。
- ③ ベースコーチはヘルメットを着用しなければならない。
- ④ バットは J S B B 認定の軟式用バットを使用しなければならない。
※試合前にチェックを行う。

7. 組み合わせ方法

- 監督・主将会議にて、審判団立会いの下、組み合わせ抽選を行う。

8. 注意事項

① メンバー表の交換

- (ア) 試合開始予定時間の 20 分前に行う。
(イ) 審判員立ち合いのもと、両チームの主将によって攻守順を決定する。
(ウ) 実行委員会で用意した用紙(4枚複写)を、各チームで事前に受領すること。
(エ) 打順表の選手については、必ずフリガナを付けること。

② 試合中に抗議ができる者は、監督または主将と当該プレーヤーのみとする。

③ 雨天の場合の連絡等について

- (ア) 当日試合を中止する場合、あるいはグラウンドの状態によっては時間を遅らせて試合を行う場合がある。
(イ) 実行委員会から各チームに最終決定を連絡するため、十分に注意すること。

9. その他

- ① 試合開始予定時刻 30 分前までには会場へ集合する。なお、集合時間に遅れたチームは、原則として棄権したものとみなす。
- ② ベンチは、組み合わせ番号の若いチームを 1 塁側とする。
- ③ 試合前のシートノックは 1 チーム 5 分間とする。ただし、天候・時間の状況等により中止または短縮する場合がある。ノッカーも選手と同様のユニフォームを着用すること。

10. 本要項の改正

一部改正(使用球変更) 2019年2月15日

卓球競技実施要項

1. 競技種目

団体戦	男子団体・女子団体
個人戦	男子シングルス（一般の部・シニアの部） 女子シングルス（一般の部・シニアの部）
ダブルス戦	男子ダブルス・女子ダブルス・混合ダブルス（一般の部）

2. 競技規則

大会開催年度の（公財）日本卓球協会ルール及び本大会申し合わせ事項による。

3. チーム編成

男女とも、監督1名、選手3～5名を登録することができる。

4. 出場資格

- ① 団体戦は、男女とも1加盟団体1チームとする。
（なお、人数によっては3チームまで可とする。）
- ② 個人戦
 - (ア) 男子シングルス戦：一般の部とシニアの部のいずれかに出場するものとする。
一般の部に年齢制限はないが、シニアの部は40歳以上（開催年度の4月1日時点）の希望者とする。但し、前回大会の一般の部で優勝した者は出場不可。
 - (イ) 女子シングルス戦：一般の部とシニアの部のいずれかに出場するものとする。一般の部に年齢制限はないが、シニアの部は40歳以上（開催年度の4月1日時点）の希望者とする。但し、前回大会の一般の部で優勝した者は出場不可。
- ③ ダブルス戦：一般の部のみ。

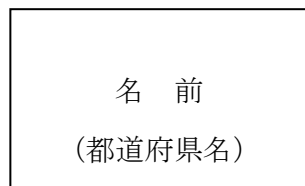
5. 競技方法

- ① 参加数により以下の方法で行う。但し、参加人数の状況により競技方法を変更することがある。
- ② 各種目とも、トーナメント戦とする。但し、会場や時間などの都合により状況によってはリーグ戦になることもある。
- ③ リーグ戦の順位決定は勝者2点、敗者1点、棄権0点で得点計算をして決定する。
（現行日本卓球ルールによる。）
- ④ 勝敗の決定は、各11点5ゲームマッチ（3ゲーム先取で勝ち）とする。
- ⑤ 団体戦は男女とも世界選手権の団体戦方式とし、3名のシングルスによって試合を行い、男女とも3点先取とする。

A	B	C	A	B
X	Y	Z	Y	X

6. 申し合わせ事項

- ① ラケット両面は、片方は黒、片方は他方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。
- ② シングルス競技者の半袖シャツ、ショーツ、スカートはJTTAの公認マーク付きのものを使用する。
- ③ 半袖シャツは団体戦やダブルス戦の場合、すべての試合において、チーム又はパートナーは同一の柄の半袖シャツ着用とすること。ショーツに団体戦は同系、ダブルス戦は同色であればよいとする。
- ④ ゼッケンは、JTTA公認のゼッケンか、下図の様式の通り作成し、背部に着用すること。



縦 21 センチまで×横 28 センチまで

- ⑤ 会場及び時間の場合、または参加チーム及び選手が多いあるいは少ない場合、試合方式を変更することがある。(場合によっては中止することもある。)
- ⑥ 試合中のアドバイスについてはアドバイザー1名のみベンチに入れる。(アドバイザーは競技者と共にベンチに入れること。)
- ⑦ 召集は2回までコールする。2回のコールで指定されたコートに入らない場合は棄権になる場合がある。

7. 使用球ボールは(公財)日本卓球協会使用指定球でJTTA公認の40ミリボールを使用する。(使用球のメーカーは主管協会が決めるものとする。色はホワイトボールとする。なお、使用球のメーカーはニッタク、TSP、バタフライを指す。)

8. 組み合わせ方法

- ① 団体戦の組み合わせは、監督・主将会議において抽選のうえ決定する。
- ② 個人戦の組み合わせは、参加申し込み締め切り後、実行委員会において審判長立会いのもとで代理抽選により決定する。
- ③ シードは下記の通りとする。シード並びは現行日本卓球ルールに従うこと。
 - (ア) 男女団体戦・・・前回準優勝まで
 - (イ) 男女個人戦・・・前回四位まで
 - (ウ) 男女混合ダブルス・・・前回四位まで(但しパートナーの変更は不可)
- ④ 当日の選手変更は認めない。

9. 表彰

- ① 団体戦は優勝チームに優勝杯（持ち回り）・賞状・楯を、二位・三位チームには賞状・楯を授与する。
- ② 個人戦とダブルス戦は一位から三位まで賞状・楯を授与する。
- ③ 種目ごとに競技終了後、表彰式を行う。

10. 注意事項

- ① 競技の進行は、タイムテーブルによって行うので、各自の試合時間、およびコートをあらかじめ確認する。但し、試合の都合により、時間やコートを変更することがあるので、タイムテーブルよりも早く試合ができるように準備をする。
- ② 団体戦のオーダーは、第1試合は監督・主将会議で定めた時間、第2試合以降は対戦チームが決定次第ただちに提出する。
- ③ その他については、実行委員会または競技役員の指示に従う。

11. 本要項の改正

一部改正（男子個人戦 一般の部・シニアの部）2019年3月7日

一部改正（女子個人戦 一般の部・シニアの部）2020年12月19日

一部改正（6. 申し合わせ事項①ラケット両面）2021年12月18日

一部改正（出場資格②個人戦(ア)(イ)の文章変更）2023年3月1日

バレーボール競技実施要項

1. 競技種目

バレーボール6人制競技（男子及び女子の2種目）とする。

2. 競技規則

大会開催年度の（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び本大会打ち合わせ事項による。ネットの高さは男子2.43m、女子2.24mとし、コート18×9mとする。

3. チーム編成

- ① 男女ともチーム数の制限はない。ただし、全国ろうあ者スポーツ大会に出場できるのは加盟団体単位すなわち各県の上位2チームまでとする。加盟団体単位でのチーム編成ができない場合は東海ブロックに限り、連合チームを編成することができる。
- ② 1チームの編成は、監督、コーチ含むスタッフ4名。選手12名の計16名以内とする。
- ③ 監督、コーチ、又はスタッフが選手を兼務する場合はメンバー構成表に記載すること。
- ④ 選手12名の内、リベロプレイヤーは2名まで登録できる。リベロはキャプテンになれる。リベロは試合毎に変更できる。7名のチームのとき、一般のプレイヤーが負傷した場合、リベロが一般のプレイヤーになることができる。

4. 競技方法

- ① 競技はトーナメント方式とする。ただし、参加チームが少ない場合は、リーグ方式とすることがあるが、監督・主将会議において最終決定する。
- ② 勝敗は3セットマッチとする。

5. 使用球

使用球は（公財）日本バレーボール協会検定5号球（カラーボール）とする。

奇数年：男子（モルテン）、女子（ミカサ）

偶数年：男子（ミカサ）、女子（モルテン）

6. 競技服装など

- ① ゼッケンは1から20までの数字とする。やむを得ない場合は、1～99までとする。
- ② チーム名、キャプテンマーク及び背番号等のサイズは規定のものとする。
- ③ リベロプレイヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォームを着用すること。
- ④ 監督、コーチを含むスタッフは統一された服装を着用すること。

7. 組み合わせ方法

競技の組み合わせは、監督・主将会議において抽選のうえ決定する。

8. 注意事項

- ① 試合開始前・セット間及び終了後の手順はプロトコールのとおりとする。
- ② 試合開始は、特に時間の指定のあるものを除き、追い込み方式で行う。
- ③ メンバー構成表に記載された選手のみ競技場に入場できる。
- ④ スタートラインアップシートは、プロトコール中に副審に提出すること。
- ⑤ 負傷の原因となるピン、指輪、かぶりもの、その他金属装身具などを身につけて競技してはならないが、自分の責任において眼鏡・補聴器を使用することができる。
- ⑥ 監督、コーチ、マネージャー章は規定のものを各チームで用意し、規定の位置に付けること。未着用の場合は、ベンチに入ることができない。

9. 本大会申し合わせ事項

反則又はボールデッドの周知方法について

主審及び副審は、プレーヤーが反則又はボールデッドの吹笛に気付かずプレーを続行している場合ネットを揺らす、副審がコートに入るなどして、プレーを中断することができる。

10. 本要項の改正

一部改正（使用球とマークの項目移動）	2019年2月15日
一部改正（使用球とマークの項目移動）	2020年12月19日
一部改正（チーム編成にかかわる項目変更）	2024年3月9日
一部改正（チーム編成にかかわる項目変更）	2024年3月9日
追加改正（本大会申し合わせ事項）	2025年12月13日

ボウリング競技実施要項

1. 競技種目

- ①団体戦：団体
- ②個人戦：男子個人・女子個人

2. 競技規則

大会開催年度のJ B（(公財) 全日本ボウリング協会）規則及び本大会申し合わせ事項による。

3. チーム編成

- ①団体戦は、各県より5チームまで編成できる。
- ②団体は、1チームに4名（男女自由4名、補欠1名）がそれぞれ登録できる。
- ③個人戦は、各県より男女とも若干名を出場できる。

4. 競技方法

- ①団体戦は6ゲームとし、そのトータルピンにより、順位を決定する。
- ②個人戦予選は男女とも6ゲーム（前半3ゲーム、後半3ゲーム）を行う。男子はトータルピン上位12名が決勝進出、女子はトータルピン上位6名が決勝進出する。
- ③団体戦、個人戦ともアメリカン方式を採用、BOX移動を行う。
- ④予選・決勝とも、上位のタイスコアがある場合はJ Bルールを採用する。

5. 競技服装

- ①選手は必ず県名・氏名を背部に明記したユニフォームを着用する。
- ②団体戦は、同じユニフォームを着用する。

6. 注意事項

- ①スコアの確認ゲーム終了後、スコアカードに記載し、提出する際、次のことに注意する。
 - (ア) スコアカードに選手がサインする。
 - (イ) スコアキーパーのサインをもらう。（スコアキーパーが不在の場合は、同伴選手のサインをもらう）
 - (ウ) スコアの誤算が発見された場合は、選手の確認サインがあっても該当選手を呼び出し、訂正の承認をとり、確定する。但し、大会の進行上呼び出し後5分過ぎたら監督を呼び出し訂正する。
- ②ゲームスタートのホイッスルと同時に投球できる状態でなければ遅刻とし、棄権とみなす。
- ③その他
 - (ア) 競技中、応援者は選手との雑談を禁止する。
 - (イ) 競技中、ボウラーズベンチ内およびコンコースでは喫煙・飲酒を禁止し、定められた喫煙所休憩所で行う。
 - (ウ) 競技中、出場選手と監督と役員以外はボウラーズ内への立ち入りを禁止する。
 - (エ) 投球のメンバーおよび順序は、各種目とも登録をもって変更できない。
 - (オ) 競技中、補聴器と携帯電話は禁止する。もし使用したまま投球した場合は失格とする。
 - (カ) 会場都合により進行上、変更する場合もある。

7. 本要項の改正

一部改正2019年2月15日

一部改正2020年12月19日

一部改正2025年3月9日 男女別団体戦→混合団体戦へ変更

(競技種目①、チーム編成①・②、競技方法①)

ソフトボール競技実施要項

1. 競技種目

男子ソフトボール競技とする。但し、女子選手が投手を行う場合は女子用の投球距離を適用する。

2. 競技規則

大会開催年度の（公財）日本ソフトボール協会オフィシャル・ルール及び本大会申し合わせ事項による。

3. チーム編成

- ① 1チームの編成は、監督・コーチ・スコアラー・マネージャーを含めて20名以内とする。
- ② 女子選手の参加は可能とする。
- ③ 監督またはコーチ・スコアラー・マネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録（記名）されていなければ選手としては参加できない。
- ④ 大会開催中に背番号のミスなどで選手名簿と一致しない選手は失格とする。
- ⑤ 登録選手の変更または追加登録は、実行委員会が指定した期日までに届け出ること。それ以降は認めない。

4. 競技方法

- ① 競技は、トーナメント戦方式によるものとする。但し、3チーム以下の場合は、リーグ戦方式によるものとする。
- ② 試合は、7イニング制と時間制を併用し、どちらかが先に達した時点で試合終了とする。但し、2チーム以下の場合は、7イニング制とする。
- ③ 1時間20分を越えたら新しいイニングに入らないものとする。但し、同点の場合はタイブレークを適用する。なお、タイブレークを2イニング実施しても勝敗がつかない場合、抽選により勝敗を決定する。
- ④ 3回15点差、4回10点差、5回以降7点以上の差が生じた場合は、コールドゲームとする。但し、2チーム以下の場合は採用しない。
- ⑤ 日没、降雨、その他プレーヤーが危機にさらされる恐れのある場合は、コールドゲームとする。
 - (ア) 4回あるいはそれ以上のイニングを終了するか、4回裏の後攻チームの攻撃中であっても、後攻チームが先攻チームより多くの得点をした場合は、コールドゲームとして試合は成立する。
 - (イ) なお、同点の場合は、抽選によって勝敗を決定する。

5. 使用球

（公財）日本ソフトボール協会公認3号ボールとし、ボールのメーカーについては、主管団体において決定する。今大会はナイガイメーカーとする。

6. 競技服装など

- ① ユニフォームは、同一チームの選手は同色・同衣装に統一された品位のあるものを着用しなければならない。帽子は同一のものを使う。
- ② アームスリーブ（腕の保護カード）を着用する場合は、アンダーシャツの着用と同様のルールを適用し、片腕または両腕にアンダーシャツと同色のものを着用しなければならない。
- ③ 打者及び走者は両耳当付ヘルメットを着用しなければならない。コーチボックスでは、ヘルメットを着用しなければならない。

④ 金属スパイクの使用は認めない。

7. 組み合わせ方法

① 監督・主将会議において、組み合わせ抽選を行う。

② ジャンケンにて予備抽選を行い、その順番にて封筒を開封後、封筒内の順番にて本抽選とする。

8. 注意事項

① オーダー表の交換は試合開始予定時間の 20 分前に行う。審判員の立会いのもと、両チームの主将によって攻守順を決定する。用紙（5 枚複写）は実行委員会で用意するので、事前に受領する。打順表の選手については、必ずフリガナを付けること。

② 次打者は、次打者席内で待機しなければならない。なお、安全面を考慮し、打席にいる打者が右打者の場合は三塁側、左打者の場合は一塁側の次打者席で待機しなければならない。

③ 抗議はルールの適用及びペナルティー適用の間違いに限り、監督だけが行うことができる。

④ 雨天の場合の連絡等について

（ア）試合を中止する場合は、主催者および審判と両監督または主将によって判断する。

（イ）試合を中止する場合、あるいはグラウンドの状態によっては開始時間を遅らせて試合を行う場合があるため、審判からの最終決定の連絡には十分留意する。

9. その他

① 試合開始予定時刻 30 分前までには会場へ集合する。なお、集合時間に遅れたチームは、原則として棄権したものとみなす。

② ベンチは、組み合わせ番号の若いチーム側を一塁側とする。

③ シートロックは 5 分間とする。但し、天候・時間の状況等により中止または短縮する場合がある。ノッカーも選手と同様のユニフォームを着用のこと。

10. 本要項の改訂

一部改正 2019 年 2 月 15 日

一部改正 2020 年 3 月 14 日

一部改正 2021 年 1 月 13 日

一部改正 2022 年 5 月 14 日

硬式テニス競技実施要項

1. 競技種目

- ①シングルス戦 男子シングルス・女子シングルス
- ①ダブルス戦 男子ダブルス・女子ダブルス

2. 競技規則

大会開催年度の（公財）日本テニス協会の競技規則及び本大会申し合わせ事項による。

3. チーム編成

出場人数について、各県とも制限は設けない。

4. 競技方法

- ①各種目とも、トーナメント方式によるものとする。但し、参加状況によっては、リーグ戦を行うことがある。
- ②勝敗の決定は、1セットマッチ（6ゲームオール後7ポイントタイブレーク）とする。但し、天候によって変更する可能性がある。

5. 使用球

- ①JTA 公認球を使用する。
- ②試合終了後、その試合で使用したボールは、敗者に授与することとする。

6. 競技服装

競技服装は JTA 競技規則によるテニスウェアを着用し、テニスシューズは競技コートに合ったものを各自用意する。

7. 組み合わせ方法

- ①参加申し込み締め切り後、実行委員会において審判長立会いのもとで、代理抽選により決定する。
- ②シングルスは男女とも前回四位まで、ダブルスは男女とも前回二位までをシードする。
- ③当日の選手変更は認めない。

8. 注意事項

- ①次ゲーム出場の選手は、割り当てられたコートの後方で待機する。試合開始に間に合わなかった場合は失格とする。
- ②ウォーミングアップは、3分以内とする。試合の進行状況によってはサーブのみとする場合がある。
- ③大会中の不時の負傷または病気については、応急手当の他は実行委員会で行わない。試合中にけいれん、肉離れが起こった場合、タイムを合図し、準備体操をして再びプレーすることができる。
- ④雨天時は、小雨は決行とする。但し、荒天により競技方法の変更を余儀なくされることについては主催者と実行委員会と審判の三者において決定する。中止の場合は抽選もしくはミニゲームとするかどうかは実行委員と競技主任との協議で決定する。
- ⑤補聴器着用は認めない。補聴器着用で試合に出た場合は失格とする。

9. 競技サインについて

①ポイント

- (ア) 0 (ラブ) 親指と人指し指で0をつくる。
- (イ) 15 (フィフティーン) 1とし人指し指の1本を立てる。
- (ウ) 30 (サーティーン) 2とし人指し指と中指の2本を立てる。
- (エ) 40 (フォーティー) 3とし人差し指と中指と薬指の3本を立てる。
- (オ) デュース両手を合わせる。
- (カ) アドバンテージこぶしを握り、親指を水平にして、その得点プレーヤーに向ける。

②コール

- (ア) 「アウト」「フォルト」または「ダブルフォルト」は片手を高く上げて示す。
- (イ) 「グッドボール」腕を伸ばし、手のひらを下に向け、腕より下に示す。両手でも可。
- (ウ) 「レット」は両手を肩より高く上げた後、片手の手を開き（ネットを意味する）、もういっぽうの手は握り（ボールを意味する）ネットに触れた様子を示す。そして、指を第一サービスの時は2本立て第二サービスの時は1本立てる。
- (エ) 「ナットレディー」および「タイム」は両手で「T（ティー）」の形を示す。
- (オ) 「タイブレーク」は両コートに対して両手で「同点」の手話で示す。
- (カ) 「エンドの交替」は、両手を左右に伸ばし、それを左右に交差させる。

10. 本要項の改正

一部改正 2019年2月15日

一部改正 2022年12月17日

(シングルス戦決勝・三位決定戦3セットマッチ⇒1セット・混合ダブルス廃止)

サッカー競技実施要項

1. 競技種目

サッカー競技とする。

2. 競技規則

大会開催年度の（公財）日本サッカー協会規定の「サッカー競技規定」による。

3. チームの編成

1チームの編成は、監督・コーチ・マネジャーを含めて22名以内とする。

4. 競技方法

競技は2チーム以上の参加により実施する。原則的にトーナメント方式により優勝以下三位までを決定する。ただし、出場チームが少ない場合はリーグ戦とすることがある。

試合時間は70分とし、ハーフタイムのインターバルは、10分とする。

勝敗が決しない場合は、PK方式により勝者を決定する。

リーグ戦の場合の順位決定について

- ① 勝ち点の合計（勝ち2点、引き分け1点、負け0点）
- ② 得失点差の多い順
- ③ ゴールアベレージ
- ④ 当該チーム間の対戦成績

5. 使用球

試合使用球は、（財）日本サッカー協会公認5号球とする。

6. 組み合わせ抽選

- ① 監督・主将会議において、組み合わせ抽選を行う。

本抽選のくじ引き順を決める予選抽選は、同会議への出席受付順とする。

- ② 監督・主将会議において、監督・主将が共に欠席したチームは、原則として出席を棄権したものとみなす。

やむを得ず代理人が出席する場合は、事前に監督または主将が作成した委任状【所定様式】を提出しなければならない。

7. 競技者の交代

競技者の交代については、試合開始前に登録した9名の交代要員の中から5名までの交代が認められる。

8. 警告・退場者の取り扱い

退場を命じられた選手は、次の1試合もしくは、2試合に出場することができない。

処分（1試合または2試合）は試合終了後、審判委員会で決定し、チームに通告する。

警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場することができない。

9. 危険物

競技中は、メガネおよび補聴器の装着等は認めない。

10. ユニホーム

- ① 参加申込書に登録されたものを原則とし、参加申込書送付後の変更は認めない。

なお、選手番号の変更も認めない。

- ② 正のユニホームの他、異なる色のユニホーム（副）を参加申込書に記載し、試合には必ず正副のユニホームを携行すること。（GKも正副、揃える。）

- ③ 選手番号は必ず参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。

- ④ 同系色と判断されるときは、メンバー表提出時に主審のコイントスにより、それぞれのチームの色を決定する。

11. 審判の合図

フリーキック、PK、ブレースキック、キッカーに蹴らせるタイミングを知らせる笛の代わりに、笛が鳴り始めてから終わるまでの間、主審は片手を前に水平に伸ばして示すものとする。

12. 表彰

東海聴覚障害者連盟体育部が定める表彰規定に従って、決勝戦終了後、閉会式において行う団体表彰は、優勝・準優勝・三位とする。個人表彰は、最優秀選手賞（1名）・優秀選手賞（ベスト4のチームから各1名）とする。

11. 【注意事項】

① メンバー表の提出

メンバー表は3部複写とし、3部提出し確認を受けること。1部はチーム控えとして返却する。メンバー表、交代用紙は監督・主将会議等、合同会議にて配布する。

第1試合については、試合開始予定時間の40分前に競技本部に提出すること。

② 2交代用紙

交代用紙は5枚配布する。用紙には、交代回数、時間、選手名（フルネーム）、監督のサインを記入すること。

③ チーム・ベンチ

① 第4審判員席からグラウンドに向かって左側のベンチは組み合わせチームの左側のチームが右側ベンチは組み合わせの右側のチームが使用する。

② テクニカルエリアに設置されたベンチには、11名が着席出来る。

④ 練習時間

グラウンドでの練習は、試合開始20分前より10分間とする。

ただし、大会運営上、支障があるときは、変更することがある。

⑤ 選手の変更等

特別の理由（突発的な事故、病気等）がある場合に限り、選手の変更並びに背番号の変更は、本大会の競技実施要領の規定（所定の用紙に理由を明記して、指定期日までに提出する。）に従って認められる。ただし、追加の申し込みは一切認められない。

⑥ 競技の組み合わせ

組み合わせ方法は競技実施要領にもとづくものとするが、最終的には参加申込チーム数に応じて、主催者と競技主管が協議して決定する。前大会の成績を参考にシード制を採用することがある。

グラウンド・ゴルフ競技実施要項

1. 競技種目

グラウンド・ゴルフ競技とする。

2. 競技規則

大会開催年度の（公財）日本グラウンド・ゴルフ協会公認によるものとする。

3. チーム編成

出場人数について、各県とも制限は設けない。

4. 競技方法

- ① 競技は個人戦とし、8ホール×3ラウンド（24ホール）ストロークマッチとする。競技人数によって、1コートか2コートにする。スタートホールは3ラウンドとも同じだが、ラウンド毎にコースを移動してプレーする。

A（赤）組：A（赤）⇒B（青）⇒A（赤）

B（青）組：B（青）⇒A（赤）⇒B（青）

- ② 打順は3ラウンド共、ローテーション方式とし、重複しないように順送りする。
- ③ スコアラーは選手に確認の上、スコアカードのすべての箇所に「算用数字」で記入し（0の場合も）ラウンド終了毎に、速やかに本部スコアカード回収担当に提出すること。原則として、過大申告は申告通りとする。
- ④ スコアラーはホールインワン達成者に、リボンを渡す。
- ⑤ ボールが他のホールに「トマリ」となった場合は、1打付加してホールポストに近づかないでクラブ1本分の距離内にボールを置き、次の打球を行うこと。ボールを打てない場合、その位置からホールポストに近づかないでクラブ1本分の距離内にボールを置き、1打付加して次の打球を行うこと。
- ⑥ 競技の進行を早める為、ホールポストの約16センチ以内に近づいたボールは「お先に」の先行を行う。それ以外の「お先に」は同じ組の選手に同意を求めること。
- ⑦ ゲーム中の判定は選手自身が行う。判定が困難な場合は同伴者の同意を求める。なお、判定が困難な場合は審判に委ねる。

5. 用具等

- ① グラウンド・ゴルフで用いるクラブ、ボール、マウス、手袋は「グラウンド・ゴルフルールブック」用具標準規則に定められているものを使用する。
- ② 競技試合中にマーカの代わりに小銭は禁止とする。

6. 順位

- ① 個人戦の順位は、合計打数の少ないプレイヤーを上位とする。
合計打数が同数の場合は、最少打数の多いプレイヤーを上位とする。
これも同数の場合は、次の最少打数の多いプレイヤーを上位とする。
以下同じ方法による。それでも同数となった場合は、主催者が事前に取り決めておいた方法による。

7. 表彰

- ① 表彰は、競技終了後の閉会式において以下を表彰する。
(ア) 個人戦男女別、1位～3位に賞状、楯を授与する。

8. 競技進行 (予定)

第1日目 (土) 個人戦	第2日目 (日) (雨天予備日 個人戦)
12:00～ 始球式	9:00～ 始球式
12:10～13:00 1回戦	9:10～ 10:00 1回戦
13:00～13:50 2回戦	10:00～ 10:50 2回戦
13:50～14:40 3回戦	10:50～ 11:40 3回戦
15:00～15:30 閉会式・表彰	12:00～ 12:30 閉会式・表彰

9. 注意事項

- ① 本競技は、ルール・マナーを守って競技および行動しなければならない。
- ② 競技場内では、指定場所以外一切禁煙のこと。
- ③ 雨天時
(ア) 当日試合を中止する場合、あるいはグラウンドの状態によっては時間を遅らせて試合を行う場合がある。実行委員会から各チームに最終決定を連絡するため十分に留意すること。

10. 本要項の改正

- 一部改正 2019年2月15日
- 一部改正 2020年3月14日 (チーム編成⑥選手の年齢廃止)
- 一部改正 2023年3月1日 (チーム編成④の文章一部削除)
- 一部改正 2025年12月15日 (チーム編成削除)

2026年 月 日

東海聴覚障害者連盟スポーツ委員長 殿

所属協会名 _____

県体育部長 _____ 印

選 手 登 録 変 更 届

下記の者は第37回東海デフスポーツ大会に出場できなくなりましたので、代理者に
変更したく、下記のとおり届け出ます。

欠場者

現在選手名 _____

競技種目名 _____ 競技

変更理由



代理出場者

代理選手名 _____

年 齢 _____ 歳

背番号 _____

ポジション _____

以 上

【提出先】

6月6日（土）10時00分開始の競技開会式に、監督または主将が提出すること。
その際、参加費を実行委員会に支払うこと。

【様式2】東海デフスポーツ大会監督・主将会議代理届

2026年 月 日

東海聴覚障害者連盟スポーツ委員長 殿

所属協会名 _____

県体育部長 _____ 印

競技種目名 _____ 競技

チーム名 _____

監督氏名 _____ 印

主将氏名 _____ 印

監督・主将会議代理届

私儀都合により、

第37回東海デフスポーツ大会 _____ 競技の監督・主将会議を

欠席いたします。代理として下記の者が出席いたします。

代理人名 _____

代理人名 _____

以上

【提出先】

5月2日（土）13時30分開始の監督・主将会議に、代理人が提出すること。

2026年 月 日

東海聴覚障害者連盟スポーツ委員長 殿

所属協会名 _____

県体育部長 _____ 印

選 手 登 録 追 加 届

第37回東海デフスポーツ大会 _____ 競技に

下記の者の出場を追加いたしたく、届け出ます。

追加出場者

ふりがな

氏名

性別

男 ・ 女

年齢

歳

背番号

以 上

【提出先】

5月15日（金）までに、実行委員会へ提出すること。
その際、参加費を実行委員会に支払うこと。

2026年 月 日

東海聴覚障害者連盟スポーツ委員長 殿

所属協会名 _____

県体育部長 _____ 印

ダブルス組合せ同意書

わたしは、第37回東海デフスポーツ大会 _____ 競技の
ダブルス戦に、下記選手と組み合わせることを届け出ます。

1. 出場するダブルス種目（どれかを○で囲むこと）

① () 男子ダブルス戦

② () 女子ダブルス戦

③ () 混合ダブルス戦

2. 組み合う選手氏名

①氏名 _____ (男 ・ 女)

②所属協会 _____ 県聴覚障害者協会

以 上

【提出先】

4月20日（月）までに、所属協会体育部長へ提出すること。

2026年 月 日

東海聴覚障害者連盟スポーツ委員長 殿

所属協会名 _____

県体育部長 _____ 印

メンバー及び投球順変更届

第37回東海デフスポーツ大会ボウリング競技のメンバー及び投球順を下記のとおり
変更いたしますので、ここに届け出ます。

【変更前】

【変更後】

氏 名① _____ 男・女

氏 名① _____ 男・女

氏 名② _____ 男・女

氏 名② _____ 男・女

氏 名③ _____ 男・女

氏 名③ _____ 男・女

氏 名④ _____ 男・女

氏 名④ _____ 男・女

以 上

【提出先】

6月6日（土）までに、実行委員会（ボウリング競技会場）へ提出すること。

2026年度 スポーツ大会出場資格基準

作成者: 東海聴覚障害者スポーツ委員会(最終改定更新日 2025年12月13日)

現行出場資格では、各県体育大会及び東海デフスポーツ大会を出場せず、全国ろうあ者スポーツ大会へ出場していた選手に対し、数年前から批判がありました。
 そこで2012年4月1日より、各県体育大会及び東海デフスポーツ大会のいずれかに出場しない場合(協会会費未納含む)は、次表のとおり全国ろうあ者スポーツ大会は失格とする基準にしました。
 東海デフスポーツ大会の個人参加条件は、下記の申込と協会会費を納入完了のことを、出場資格基準といたします。

継続会員	県体育大会	東海デフスポーツ大会	全国ろうあ者スポーツ大会
県体育大会開催競技がある場合(*1)	参加	参加	○
	不参加	参加	×
	参加	不参加	×
県体育大会開催競技がない場合(*2)	参加	参加	○
	不参加	不参加	×
東海体育大会開催競技がない場合(*3)	参加	参加	○
	不参加	不参加	×

(*1)下の表の「○」を示す。

(*2)下の表の「免除」を示す。

(*3)バスケットボール・陸上・バドミントンを示す。

※団体競技→個人競技への変更は認められるが、団体競技→他の団体競技への変更は認められない。

〈例〉県体育大会→野球競技、東海デフスポーツ大会→ソフトボール競技は認められない。

5月末時点での入会・入部		県体育大会	東海デフスポーツ大会	全国ろうあ者スポーツ大会
新卒	個人競技	免除	参加(*4)	○
	団体競技	免除	参加(*4)	○
新卒以外 (引越しなど)	個人競技	参加	参加(*4)	○
		不参加	不参加	×
	団体競技	参加	参加(*4)	○
		不参加	不参加	×
		参加	参加(*4)	×
		不参加	不参加	×

(*4)県体育大会及び東海デフスポーツ大会開催競技ではない場合はそのまま全国ろうあ者スポーツ大会への参加が認められる。

* 各県協会会費は5月末までに納めること。

6月以降の入会・入部		県体育大会	東海デフスポーツ大会	全国ろうあ者スポーツ大会
全て		参加	×	×

東海ブロック代表東海予選大会 ○印は県体育大会

競技名	静岡県	岐阜県	三重県	愛知県	備考
軟式野球		免除		免除	
ソフトボール		免除		○	
サッカー		免除		免除	

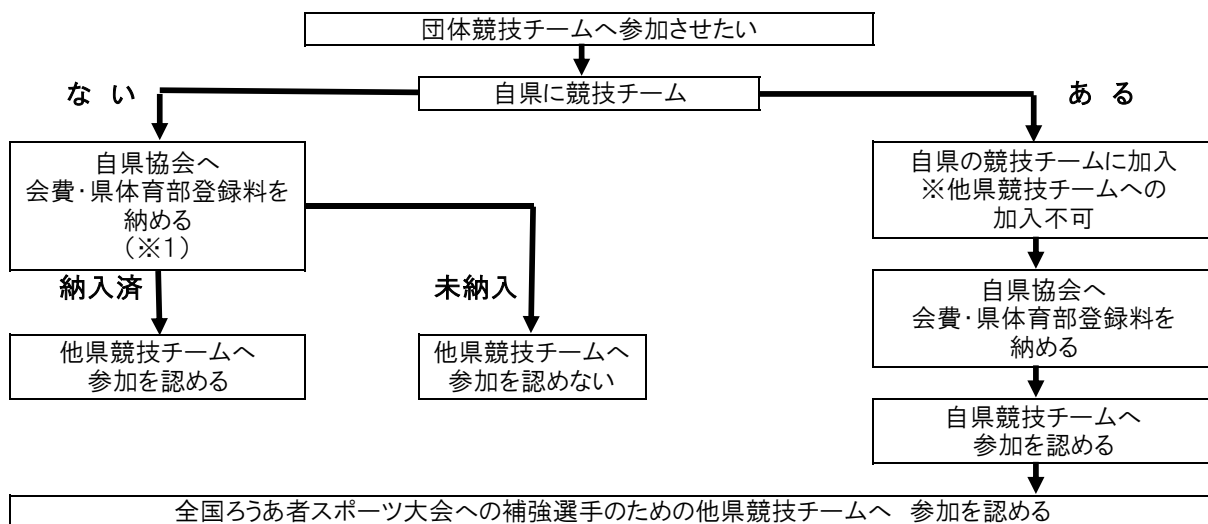
東海デフスポーツ大会 ○印は県体育大会

競技名	静岡県	岐阜県	三重県	愛知県	備考
卓球		免除		○	
バレーボール		免除		○	
ボウリング		免除		○	
テニス		免除		○	
グラウンド・ゴルフ		免除		○	全国ろうあ者スポーツ大会無し

東海デフスポーツ大会開催がない競技

競技名	静岡県	岐阜県	愛知県	愛知県	備考
バスケット		免除		免除	
陸上		免除		免除	
バドミントン		免除		免除	

東海体育大会における加盟団体チーム出場権の判定フローチャート



※1 他県協会へ会費を納める必要はない。

第37回東海デフスポーツ大会

【託児についてご案内】



1. 対象年齢：1歳～小学6年生まで
2. 託児料：1人1日3,000円（保険料含む）
3. 託児時間：6月6日（土）9：30～18：00
6月7日（日）8：30～16：00
4. 託児会場：一宮市総合体育館 多目的室
5. 申込方法：申込書に必要事項記入の上、下記までお申し込みください。

実行委員会事務局 FAX：052-221-8154

6. 申込締切：2026年4月27日（月）必着
7. 重要事項：※必ずお読みください。
 - お子様に必要な物品（ミルク、おむつ、着替え他）や飲み物、昼食、おやつなどは各自でご用意ください。
 - 昼食は託児スタッフが対応します。
 - 15時以降の託児を申込みの場合は、おやつの準備をお願いします。
 - 着替え等の持ち物にはすべて名前を記入してください。
 - お子様の保険証管理、服薬管理などは保護者をお願いします。
 - アレルギーなどお子様の状態は必ず事前にお伝えください。
 - その他、確認事項がある場合は実行委員担当者より個別に連絡いたします。
 - 当日の健康状態によっては託児をお断りする場合があります。ご了承ください。
8. 受付場所：直接、託児会場までお越しください。
9. キャンセルについて
 - 申込み後にキャンセルの場合、返金いたしません。ご了承ください。
 - キャンセルする場合は、早めに実行委員会へご連絡ください。
10. その他お問い合わせは、実行委員会事務局または各県聴協へご連絡ください。

第37回東海デフスポーツ大会【託児申込書】

FAX : 052-221-8154

申込〆切 : 4月27日(月) 必着

●保護者名

2026年 月 日

所属協会	三重 岐阜 静岡 愛知	参加競技	競技
ふりがな			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
保護者名			<input type="checkbox"/> ろう者 <input type="checkbox"/> きこえる人
FAX番号	()	-	
携帯アドレス			
託児希望日	下記のどれか1つに■をつけて下さい。		託児料金
	<input type="checkbox"/> 6/6(土) 9:30~18:00		3,000円/1人
	<input type="checkbox"/> 6/7(日) 8:30~16:00		3,000円/1人
			希望人数
			人
			人

●こども(1)

ふりがな			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
なまえ		愛称	<input type="checkbox"/> きこえない <input type="checkbox"/> きこえる
生年月日	年 月 日	生まれ(歳 カ月)	学年:
事前確認事項	<input type="checkbox"/> おむつ (している ・ していない)		
	<input type="checkbox"/> トイレ (一人でできる ・ 介助があればできる ・ 一人でできない)		
	<input type="checkbox"/> アレルギー (あり ・ なし) ※「あり」と答えた方は具体的にご記入ください。		
	<input type="checkbox"/> その他伝えておきたいこと(投薬の時間、性格・クセ、好きな遊びなど)		

●こども(2)

ふりがな			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
なまえ		愛称	<input type="checkbox"/> きこえない <input type="checkbox"/> きこえる
生年月日	年 月 日	生まれ(歳 カ月)	学年:
事前確認事項	<input type="checkbox"/> おむつ (している ・ していない)		
	<input type="checkbox"/> トイレ (一人でできる ・ 介助があればできる ・ 一人でできない)		
	<input type="checkbox"/> アレルギー (あり ・ なし) ※「あり」と答えた方は具体的にご記入ください。		
	<input type="checkbox"/> その他伝えておきたいこと(投薬の時間、性格・クセ、好きな遊びなど)		

【お願い】 お子様3人以上の場合はコピーしてご記入ください。

第 37 回東海デフスポーツ大会 参加申込みの流れ

1. 参加申込締切

個人申込期限 4月20日(月)まで (個人→所属協会へ申込み)

総括申込期限 4月27日(月)必着 (所属協会体育部長→大会実行委員会へ提出)

2. 各申込書、様式提出先および提出期限一覧表

	提出元→先	参加者・チーム ↓ 所属協会	所属協会 ↓ 実行委員会	所属協会 ↓ 実行委員会	監督主将 ↓ 実行委員会
各書類					
1 参加申込書 (個人用)		4/20 (月)	4/27 (月)		
2 参加誓約書					
3 各競技参加申込書 ※データも提出					
4 各競技申込集計表 ※データも提出					
5 ダブルス参加申込書 (卓球・硬式テニス)					
6 総集計表 (個人参加料) ※データも提出					
7 総集計表 (団体参加料) ※データも提出					
8 (様式 1) 登録選手変更届 ※参加費も				6/6 (土)	
9 (様式 2) 監督・主将会議代理届					5/2 (土)
10 (様式 3) 選手登録追加届 ※参加費も		5/15 (金)		5/16 (土)	
11 (様式 4) ダブルス組合せ同意書		4/20 (月)	4/27 (月)		
12 (様式 5) メンバー及び投球順変更届				6/6 (土)	

※実行委員会から各県協会事務所へ総集計表等のデータを送ります。

3. 大会参加料 (団体料・ダブルス料・個人参加料) の振込先

【銀行名】三菱 UFJ 銀行 【支店名】 愛知県庁出張所

【口座番号】 (普通) 0013964

【口座名義人】 (一社) 愛知県聴覚障害者協会 体育部

※振込手数料はご負担願います。

4. 連絡先・お問い合わせ先・申込書類送付先

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸1丁目7番2号 桜華会館内
一般社団法人愛知県聴覚障害者協会 気付

第37回東海デフスポーツ大会実行委員会

FAX:052-221-8154 / TEL:052-221-8545 / Email:a18154@sage.ocn.ne.jp

第37回東海デフスポーツ大会 参加申込書（個人用）

申込日 2026年 月 日

所属協会		_____ 県聴覚障害者協会		
(高校生参加者は学校名・学年記入)		(学校名: _____)	学校	年生)
ふりがな		性別	年齢	<input type="checkbox"/> ろう者 <input type="checkbox"/> きこえる人
名前		男・女	歳	←'26年4月1日時点の 年齢を記入下さい
住所	〒 _____			

申込内容 申し込みされる場所に○をして、金額を記入してください。

	競技種目	参加料		○を記入	金額
		一般	高校生		
個人参加料	軟式野球競技	3,500円	2,000円		円
	卓球競技	3,500円	2,000円		円
	バレーボール競技	3,500円	2,000円		円
	ボウリング競技	6,000円	4,000円		円
	ソフトボール競技	3,500円	2,000円		円
	硬式テニス競技	3,500円	2,000円		円
	グラウンド・ゴルフ競技	3,500円	2,000円		円
	サッカー競技	3,500円	2,000円		円
ダブルス参加料【卓球・硬式テニス】1人/1,500円/1種目 参加する種目に○をつけて下さい（ 男子 ・ 女子 ・ 混合 ）					円
役員参加料	東海聴覚障害者連盟スポーツ委員 参加料 3,500円				円
託児料	6月6日（土）	3,000円/1人		名	円
	6月7日（日）	3,000円/1人		名	円
合 計					円

- ①弁当については衛生上の理由により、各自用意をお願いします。
- ②個人申し込みの受付窓口は、あなたの所属する県聴覚障害者協会です。
- ③個人参加申込締切は、（個人→所属協会）2025年4月20日（月）です。ご厳守ください。

東海デフスポーツ大会参加に関する誓約事項

- ①大会主催者が設けた全ての規約、規則、指示、注意事項を遵守いたします。
尚、大会に備え安全管理及び体調管理に留意し、大会中の傷病及び事故（所有物の盗難、破損、紛失を含む）等は自己の責任とし、主催者に対し損害賠償請求等を行わないことを誓います。
- ②大会への参加に際し、自己の身体状況を十分考慮し、競技する身体的条件が備わっていると自らが判断し、申し込みましたので、大会開催中に発生した健康上および補装具（人工内耳・補聴器・ペースメーカーなど体内埋め込み型医療機器・眼鏡など）の問題については、一切自己の責任といたします。
- ③大会参加にあたり、自己の障害および疾病による身体状況については自ら医師の意見を伺うことを約束いたします。
- ④競技大会参加中の様子がマスコミ等に用いられる場合には、プライバシーが尊重されることを前提に協力いたします。
- ⑤（高校生の場合）保護者の同意を得た上で、大会に参加いたします。

以上の事項に同意し参加申込することを誓約します。

参加誓約書

2026年 月 日

参加者自筆署名	⑩
---------	---

※参加者が高校生の場合は、保護者の方の承諾をお願いします。

保護者自筆署名	⑩
---------	---

◇参加申し込みにあたり上記事項の内容について、全参加者・申込責任者ともに同意し、お申し込みください。

◇参加者が高校生の場合は、参加申込書に保護者による参加同意の署名・捺印が必要となります。（署名・捺印がない場合は、申し込みを受理できません）

◇署名は、手書きの場合は捺印不要ですが、パソコン記入の場合は捺印をお願いします。

